

インターネットを 使いこなそう



4

セキュリティを見直そう

■インターネットの普及と増加する事件・トラブル

インターネットの普及とスマートフォンなどの様々な端末の普及により、誰もが家庭や会社、外出先で世界中の人達や企業と交流・取引を行えるようになりました。その結果、ネットワーク上を流れるデータ量も以前とは比較にならない程増加しています。同時に、セキュリティに関する事件やトラブルも増加の傾向をたどっています。

またスマートフォンやタブレットなどの新たな端末の普及やインターネット上の様々なサービスの普及により、攻撃の手口も次々と新たなものが発生しています。

IPA（独立行政法人情報処理推進機構）から公表されたコンピュータウィルス検出数（IPAへ届出者から寄せられたウィルスの発見数）は、2012年7月は25,487個で同年前月比15.9%の増加でした。

また不正アクセスの届出は19件であり、その内何らかの被害（侵入やなりすまし）があったものは18件でした。

<http://www.ipa.go.jp/security/txt/2012/08outline.html>より引用

■セキュリティ対策が不十分だと…

みなさんの利用されているコンピュータやスマートフォンなどの端末、ネットワークのセキュリティ対策は大丈夫でしょうか。少しの手間とコストをかけるだけで、セキュリティレベルは格段に向上し、安心してインターネットを利用することができるようになります。

しかし、もしその少しの手間やコストを惜しむとどうなるでしょうか。

例えばウィルス対策ソフトを導入していなかったり、導入しても常に最新の状態に更新していなくてウィルスに感染したとしたら…。

パソコンやサーバに保存している取引情報や仕事上のノウハウ（大事な商品の製造法や販売秘訣など）が使えなくなったら、仕事を続けられるでしょうか。また、顧客情報や従業員の機密情報（与信や



略歴

- ITコーディネータ
- 大分IT経営推進センター会員/理事
- 大分県中小企業支援アドバイザー（大分県産業創造機構登録）
- 大分上野丘高等学校 広島大学経済学部 卒業
- システム開発会社（東京・大分市）を経て、中小企業のIT経営と業務プロセスの構築・運用・改善支援を行う
- 2009～2010年度、大分県商工労働部情報政策課にて「大分県ITお助け隊」の一員として中小企業のIT化支援

IT経営デザイン大分 大隈 義弘氏

評価結果など）が会社から流出して世界中に広まったらどうでしょう。取引先や従業員はそのまま会社を信用して取引や仕事を続けてくれるでしょうか。

長年に渡って築き上げた信用も、ひとつの事故やトラブルで一瞬のうちに失われてしまうことは、現実の社会でもインターネットの上でも変わりはありません。

■代表的なセキュリティ対策

セキュリティ対策の代表的なものとして、先の事例に挙げたウィルス対策ソフトとファイアウォールについて簡単に紹介します。

ウィルスとは、不正な処理を実行するプログラムのことです。コンピュータがウィルスに感染すると、保存しているデータが消されたり書き換えられたりネットワーク上にばらまかれたりします。

ウィルスはインターネットや外部記憶媒体（USBメモリなど）を経由してコンピュータに感染します。

ウィルス対策ソフトは、コンピュータや外部記憶媒体がウィルスに感染していないか検査し、感染していた場合は駆除したり廃棄するソフトです。ウィルスパターンファイルというウィルスの情報を集めたデータを常に最新状態に保つことで、最新のウィルス感染について検査できるようになります。

ファイアウォールとは「防火壁」のことですが、セキュリティの世界では外部から企業などのネットワークへ侵入されるのを防ぐシステム、またはそのようなシステムが組みこまれたコンピュータのことを称します。外部ネットワーク（インターネット側）と内部ネットワーク（社内LAN側）との境界に設置し、ネットワーク内外を流れるデータを監視します。

主な機能としては、外部からの素性が分からないアクセスを検出・遮断するフィルタリング、逆に内部からの不正なサイト（ホームページ）へのアクセス制限などがあります。

■セキュリティ対策を見直してみよう。

セキュリティ対策の不備による事故やトラブルに巻き込まれないために、家庭や会社にあるコンピュータやスマートフォンなどの端末、ネットワークのセキュリティ対策が必要十分なものとなっているか、いちど見直してみる事を強くおすすめします。